

2015年度SIP-adus施策概要

施策名

電波を活用した安全運転支援システム(DSSS)の高度化に向けた調査研究

担当組織

一般社団法人 UTMS協会

作成者名 加藤 宏

プロジェクトの目標

自動車の安全運転支援や自動走行を実現するためには、路側に設置したセンサにより自動車の見通し外も含めた周囲の状況を把握し、自動車に対して交通事故防止に資する交通情報をリアルタイムに提供することが不可欠である。そこで、電波を活用して刻々と変化する交通情報を自動車に提供するシステムを開発・検証し、運転支援の高度化を図る。

今年度の取組内容や結果等の概要

車車間・路車間通信の混在環境においても自動車と路側インフラの間で確実に通信が成立する通信プロトコルの検討・策定、人や車の検知に用いる79GHz帯高分解能レーダー等の路側センサーに求められる要求条件の検討及び運転支援に要求される機能を満たしつつも安価なシステム(普及版システム)を開発するための調査研究を行った。

今年度は、従来版システムと普及版システムの機器構成等の比較検証を行い、工事を含めたシステム単価の削減効果を検証するとともに、テストコースにおいて普及版システムの実証実験を実施し、車載機自律による位置標定機能の検証、道路線形情報の要求精度の検証、路側センサに求められる要求条件の検証及び路車間通信によって車載システムに提供されるメッセージセット仕様の検証を完了した。

また、普及版システムを運用するための交通管制センターの機能、システムのライフサイクル(設置～運用～廃棄)における交通管制センターの役割及びセキュリティ管理やインシデント発生時の対応等、電波を活用する上での運用規定を検討し、ガイドラインを取り纏めた。

今後の主な課題、取り組むべき内容

- 検討結果のフィージビリティ検証
- 普及版システムの整備・検証
- 自動運転に向けたサービス拡張、課題の整理